

平成 26 年 度

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

事 業 報 告 書

公益財団法人 松尾学術振興財団

## 平成 26 年度 事業 報告 書

### 1. 事業の状況

#### (1) 自然科学の学術研究助成（公益目的事業 1）

4 月 16 日に当財団の助成に関係すると思われる全国の 158 の大学・研究機関等に推薦依頼を行った。7 月 31 日の締め切りまでに 52 件の応募があり、下記の 6 件が採択された。

#### 第 27 回（平成 26 年度）松尾学術研究助成

推薦者	研究題目	代表研究者	助成金額 (万円)
上智大学 理工学部長 築地 徹浩	電子-陽子質量比 $\beta$ の時間依存性研究のための $C a H^+$ 振動回転基底状態の生成とそのレーザー分光	上智大学 准教授 岡田 邦宏	280
東京大学大学院 理学系研究科 副研究科長 武田 洋幸	光学的ねじればねで捕捉された巨視的懸架鏡を用いた重力デコヒーレンスの実験的検証	東京大学 学術振興会 特別研究員 PD 松本 伸之	410
レーザー技術総合研究所 副理事長 井澤 靖和	反射機構を必要としないチェレンコフ型テラヘルツ波放射発振器に関する基礎研究	レーザー技術 総合研究所 研究員 李 大治	300
岡山大学大学院 自然科学研究科 研究科長 妹尾 昌治	パラ水素分子とマクロコヒーレンスを利用した高出力・狭線幅テラヘルツ光源開発	岡山大学 准教授 植竹 智	310
京都大学 化学研究所 所長 佐藤 直樹	レーザー生成プラズマを用いた新たなレーザー加速パルス電子の高強度化技術に関する研究	京都大学 化学研究所 助教 井上 峻介	300
佐賀県地域産業支援センター 九州シンクロトロン 研究センター 所長 上坪 宏道	短波長光渦による原子分子の光イオン化ダイナミクスの解明	九州シンクロトロン 光研究センター 副主任研究員 金安 達夫	400
合	計 (6 件)		2000

## <研究助成募集要項抜粋>

### 1. 助成対象研究分野

原子物理学及び量子エレクトロニクス・量子光学の基礎に関する実験的・理論的研究及びこれらを手段として用いた物理学の基礎に関する研究  
新しい創造的な発展の可能性を持つ萌芽的な研究を特に歓迎します。

- a)新レーザー分光学
- b)量子エレクトロニクスと新計測技術
- c)物質波・物質波光学
- d)電磁場中の原子過程
- e)特異な原子・分子構造とダイナミクス

### 2. 助成対象者

大学等の研究機関において自然科学分野の研究に従事している若手研究者  
推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

### 3. 助成金額と助成件数

助成金額 総額 2000 万円  
件数 5～6 件(1 件当り 200～500 万円)  
助成金の使途 (1) 設備備品費 (2) 消耗品費 (3) 旅費 (4) 謝金  
(5) その他

### 4. 募集締切 7 月 31 日

### 5. 審査・決定

自然科学選考委員会の選考を経て、理事会において決定する。(9 月中旬予定)

自然科学選考委員会

(委員長) 藪崎 努 市川 行和 加藤 義章 北野 正雄  
山崎 泰規 渡辺 信一 五神 真

## (2) 褒賞 (公益目的事業 2)

松尾財団宅間宏記念学術賞

学術研究助成とセットで全国に関連する大学、研究機関に推薦依頼を行った結果、5 件の推薦をいただいた。昨年からの持ち越し 1 件と合わせて、6 件の審査を行った結果、下記の授賞が決定した。

第 18 回 (平成 26 年度) 松尾財団宅間宏記念学術賞 賞金 200 万円

推薦者	研究題目	受賞者
理化学研究所 理事長 野依 良治	超伝導回路を用いた原子 物理と量子光学の研究	理化学研究所 創発物性科学研究センター 量子情報エレクトロニクス部門 量子凝縮物性研究グループ グループディレクター Franco Nori

### < 学術賞推薦要項抜粋 >

1. 対象となる研究分野  
原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクスの研究
2. 授賞対象者  
原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクスの研究で特に業績が顕著と認められる研究者で現に研究の第一線で活躍している者を優先(若手研究者を優先)
3. 推薦者  
財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等
4. 賞金と件数  
原則として1件 賞金 200 万円
5. 募集締切り  
7月 31 日
6. 審査・決定  
審査は前記学術研究助成の選考委員会が当り、理事会において決定する。

◎ 研究助成金及び松尾財団宅間宏記念学術賞の贈呈式は 10 月 29 日如水会館にて行った。

#### (3) 調査研究事業 (公益目的事業 3)

平成 26 年度は、米国科学アカデミー紀要に発表されたゲルマン博士らの研究論文「The origin and evolution of word order」を検証し、人文的背景にある「目的論的価値判断と存在論的価値判断」について考察し、「文化としての学術」≡「自然科学研究の存在論的価値の論理値」≡「勿体性」の概念に到達し、「勿体性理論」の短論文 (Logicette ロジケット) を作成した。

その研究過程で、「自然科学と人文科学の論理結合子」を考察し、両命題の補集合の異なる 4 つの論理場と、その前提となる 2 つの論理場、両命題それぞれを補集合とする 6 つの論理場を抽出し、ロジケット「自然科学と人文科学の論理結合」(Logische Verknüpfung von Natur- und Geisteswissenschaften) を作成した。

#### (4) 松尾音楽助成 (公益目的事業 4)

平成 26 年度は、5 月 16 日音楽大学 17 校及び管弦楽団 13 団体に推薦依頼を行なった。応募 (推薦) 3 件を受けオーディション及び選考委員会での討議を経て次の 2 件が採択となった。

第 25 回(平成 26 年度)松尾音楽助成

推薦者	団体名	助成期間	助成金額
桐朋学園大学 原田 幸一郎	Quartet Arpa 小川 響子(Vn) ヴァイオリニスト 戸原 直 (Vn) ヴァイオリニスト 古賀 郁音(Va) ヴィオリスト 伊東 裕 (Vc) チェリスト	1 年	300 万円

第 25 回(平成 26 年度)松尾音楽助成 (奨励金)

推 薦 者	団 体 名	助成期間	助成金額
読売日本交響楽団 コンサート マスター 小森谷 巧	<b>Quartett Hymmus</b> 小林 朋子(Vn) ヴァイオリニスト 山本 翔平(Vn) ヴァイオリニスト 松井 直之(Va) ヴィオリスト 高木 慶太(Vc) チェリスト	1 年	100 万円

<音楽助成推薦要項抜粋>

1. 助成対象者

本格的に弦楽四重奏に取り組んでいる若手の弦楽四重奏団のメンバーでメンバーの平均年齢が 35 歳までとする。〈メンバーの所属に関する制限はない。同一機関、同一大学等でもよい。〉

2. 採択件数 1～2 件

3. 助成金額 上限は 400 万円

4. 助成期間 1 年

5. 助成金の使途

研修・研鑽のためなら特に制限を設けていないが、助成決定の際に財団と協議の上定める。

6. 応募(推薦) 音楽界有識者の推薦による。

7. 推薦締切日 平成 26 年 12 月 19 日

8. 選考方法

1)第 1 次審査 書類選考

2)第 2 次審査 オーディション 日時 平成 27 年 2 月 4 日

場所 OAG ドイツ東洋文化研究協会ホール

第 1 次合格者に対するオーディションで、課題曲は次のとおり。

A. すべてのハイドンの弦楽四重奏曲、またはすべてのモーツァルトの弦楽四重奏曲の中から 1 曲

B. すべてのベートーヴェンの弦楽四重奏曲の中から 1 曲

C. 20 世紀に書かれた弦楽四重奏曲の中から 1 曲

以上の 3 曲を演奏して頂きます。

注) 前年度にもこのオーディションに参加したグループは、A,C の中で前年と違う曲を選択してください。

選考は次の選考委員会で行う。

(委員長) 岡山 潔 大谷 康子 川崎 和憲 澤 和樹

原田幸一郎 山崎 伸子

9. 助成の決定 選考委員会の選考を経て、財団理事会において決定する。

10. 研修成果発表 平成 28 年 2 月 28 日(日)マツオコンサートにおいて成果発表演奏会を行う。

### マツオコンサートの開催

音楽助成の成果発表の場としてのマツオコンサートは昨年度助成の下記 1 団体により次のとおり開催した。

第 22 回マツオコンサート

開催日 平成 27 年 2 月 21 日 14 時～

会場 津田ホール

出演者と曲目

#### Quartet Berlin Tokyo

守屋 剛志 (Vn)

Moti Pavio (Vn)

杉田 恵理 (Va)

松本 瑠衣子 (Vc)

曲目

シュルホフ：弦楽四重奏のための 5 つの小品

ラヴェル：弦楽四重奏曲 へ長調

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第 11 番 へ短調 作品 95「セリオーン」

聴衆 372 名

## 2.会議等に関する事項

### (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 26 年 5 月 22 日	1)平成 25 年度事業報告書承認の件 2)平成 25 年度決算報告書承認の件 3)評議員会開催の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
9 月 12 日	(決議の省略により開催) 1)第 18 回松尾財団宅間宏記念学術賞 決定の件 2)第 27 回松尾学術研究助成決定の件	提案内容に全員賛成 の回答 提案内容に対し全員 賛成の回答
平成 27 年 3 月 16 日	3)「研究助成基金」一部取崩しの件 1)第 25 回(平成 26 年度)松尾音楽助成決定 の件 2)平成 27 年度事業計画承認の件 3)平成 27 年度収支予算書承認の件 4)選考委員委嘱の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

### (2)評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 26 年 6 月 19 日	1)平成 25 年度事業報告書承認の件 2)平成 25 年度決算報告書承認の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

### (3)選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 26 年 9 月 1 日	平成 26 年度松尾学術賞審査・採択候補選 出の件 平成 26 年度松尾学術研究助成審査・採択 候補選出の件	全員一致で決定 全員一致で決定

### 3.処務事項

発生年月日	項 目	備 考
平成 26 年 4 月 16 日	第 18 回松尾学術賞・第 27 回松尾学術研究助成候補者推薦方依頼（大学他）	
5 月 16 日	第 25 回音楽助成候補推薦方依頼（音楽大学他）	
5 月 22 日	理事会 平成 25 年度事業報告書・収支決算書承認の件他	
6 月 19 日	評議員会 平成 25 年度事業報告書・収支決算書承認の件	
6 月 23 日	平成 24 年度事業報告書・収支決算書 届出 公益認定等委員会	
7 月 31 日	松尾学術賞・学術研究助成推薦応募締切り	
8 月 20 日	年報「第 26 回事業報告書 2013」刊行	
9 月 1 日	松尾学術賞・研究助成の選考委員会	
9 月 12 日	決議の省略による理事会 第 18 回松尾財団宅間宏記念学術賞・第 27 回松尾学術研究助成決定	
10 月 29 日	第 18 回松尾財団宅間宏記念学術賞 第 27 回松尾学術研究助成金及び特別助成金 贈呈式開催 如水会館	
12 月 15 日	マツオコンサート入場希望者受付開始	
平成 27 年 2 月 4 日	第 25 回松尾音楽助成オーディション・選考委員会	
3 月 16 日	理事会 1)第 25 回(平成 26 年度)松尾音楽助成決定の件 2)平成 27 年度事業計画書承認の件 3)平成 27 年度収支予算書承認の件 4)選考委員委嘱の件	
3 月 26 日	平成 27 年度事業計画書 平成 27 年度収支予算書 届出 公益認定等委員会	